

今回は父（坂倉 洋）が深谷さんからこの支援物資運搬のボランティアのお話をいただいたのですが、都合が合わなかったため、それならばと立候補し参加させていただきました。

第七回 東日本大震災 災害支援物資運搬報告書

（記録：坂倉大輝）



2011年4月19日から21日の間、2011年3月11日発生の地震及び津波において被害に遭われた方々を救援することを目的に日本聖公会として組織されたチームの一人として、被害地へ物資運搬を行った際の行動スケジュールおよび活動内容をここに報告します。

行動目的	東北教区にある現地対策本部への救援物資の運搬および現地対策本部から被災地避難所への救援物資の運搬、
行動期間	2011年4月19日（火）～21日（木）
運搬物資	日常生活物資（西日本各地より提供を受け、集積されたもの）
派遣要員	松本（名古屋聖ステパノ教会） 倉田 深谷（名古屋クラブ） 坂倉（名古屋グランパス） 計4名
利用運搬車	2台を使用

行動日別タイムテーブル

4月19日（1日目）

08：30 出発前 お祈り（渋澤主教による）後、教区センター出発
|
11：00 1次休憩
|
13：30 2次休憩 昼食 給油（海老名SA）
|
18：30 3次休憩 給油（大谷SA）
|
21：30 コンフォートホテル天童(山形)に 到着 夕食 就寝



行動初日、この日の行動目標は東北までの距離が長いこともあり現地入りはせず、ベースとなるホテルへいくことだけになっていた。運搬物資の積み込みは前日すでに完了していたため、チームメンバーがそろい次第出発前のお祈りをし、ホテルのある山形県の天童市へ向かう運びとなった。

移動中使用車両に対するガソリン給油は高速道路で行い被災地での補給は避ける方



針もあって給油は早め早めに行われた。道中地震警戒のためか東北区画においては最大 50 km/h の制限区画が多くあり、高速道路のひび割れを補修した跡や段差注意の看板や電光掲示が見受けられた。

また、天候には恵まれず途中より降っていた雨が、山形蔵王を越える前後で雪に変わったためチーム車両は慎重を期した運転を強いられた。

4月20日(2日目)

07:00 朝食

08:00 コンフォートホテル天童を出発

09:00 ナザレ修道院(仙台)に到着

10:30 東京、京都、仙台のボランティアメンバーと合流し運搬した物資の積み下ろしと避難所へ向けた物資(お米)の積み込みを行なう

11:00 管区 宣教主事 中村司祭を同行に迎えナザレ修道院を出発 南三陸(宮城)の避難所へ

12:00 南三陸町静川避難所へ到着 物資搬入後、石巻へ向けて出発

13:00 石巻に到着 石巻周辺の被災地の様子を見て回る

- 16 : 00 仙台市に向けて出発
- 17 : 00 ナザレ修道院にて同行していた中村司祭を降ろし、約束のある仙台市市民生活支援センターへ移動
- 17 : 30 仙台市市民生活支援センターに到着
- 17 : 45 仙台市市民生活支援センターにて、聖ヨハネの団体いきいきサロンよりの支援金をセカンドハーベスト仙台へ届ける
- 18 : 30 ホテルへ向けて帰路に着く
- 20 : 30 ホテルに到着 夕食 就寝



2日目、行動目標としてはメインともいうことができる一日。タイムテーブルの通りまずは名古屋より運搬していた物資をナザレ修道院へと届けることとなった。

道中町の様子を見るもぱっと見では住民の方々は通常の生活を営んでいるように見え、地震の影響も余り残っていないように感じた。道の混雑もなく、予定していたよりも早くに修道院へと到着したため、他のボランティアメンバーとの合流を待つ作業を開始した。合流を待つ間、修道院の様子を見せていただいたが、地震によって外壁にひびが入った部分も見受けられるなど移動中にはわからなかった地震の影響を感じられた。

合流後作業は滞りなく終了し、改めて米を積みなおし中村司祭を同行者に加えたチームは南三陸の避難所へ向けて出発した。移動中、道路の補修跡や瓦の落ち



た屋根、自衛隊の特殊車両等を見かけることが多くなってしばらくして津波の被害を多く受けた地域へと到着。被災地域に入ってすぐに被災者、行方不明者のために祈りをさ

さげた(中村司祭による)。被災地の様子は今までの生活を残していた地域とは一変し、



一見するとどこか別の場所からも集めたかに思われるが、ただ流されたままの状態に残るがれきの山や、水害特有の独特のにおい、その中で捜索を続ける自衛隊の方々、そういった独特の空気感の混じった様子を感じつつ静川避難所へ向かった。

避難所へ到着したのち避難所の裏手にある物資の集積所にて運搬した米を避難

所のスタッフの方々と協力して荷降ろしし、その後避難所の様子をうかがった後にチームは石巻の被災地に向かった。

石巻では津波の被害を受けた小学校や中学校、病院などを巡りその被害の悲惨さを確かめた。



夕方になってチームは仙台に戻り、中村司祭と別れて仙台市市民生活支援センターへと向かい聖ヨハネの団体いきいきサロンよりの支援金をセカンドハーベスト仙台へ届けた。この時大きな聖堂の近くへと出向いたのだが地震の影響で内部が大きな被害を受けており立ち入りできない状態であることを聞いてここでも地

震の影響について考えさせられた。

その後チームは天童市のホテルへ帰路に着いた。この日は天候としては昼夜一環として降っても小雨がちらつく程度であり行動に影響を受けることはなかった。

4月21日(3日目)

07:30 朝食

08:20 コンフォートホテル天童出発

11:00 1次休憩 (那須高原SA)

14:30 2次休憩 昼食 給油 (海老名SA)

17:30 3次休憩 給油 (浜名湖SA)

19:30 教区センターに到着 お祈り

20:00 解散

三日目は初日同様ただ名古屋への移動のみを行動目標として行った。使用者に積んでいた物資を降ろし、軽くなった車体での帰路は往路より短い時間で移動が完了した。この日の天候は三日間のうちでもっともよく、交通に影響は受けなかった。

所 感



この度は、物資運搬のボランティアに参加させていただきありがとうございました。このボランティアに参加し、実際に被災地を知ったことはとても良い経験になりました。

南三陸や石巻の被災地では情景を文書としては打ち出すことはできても、それに関してどういった感想を述べればよいのか、まだにつかみかねています。「どう表現したらよいかかわからない」ということが一番の感想なのかもしれません。この経験を経て今までよりさらに被災地の方々に對して何ができるのだろうかと考えるようになりました。



そして現地の様子をより多くの人々が実際に目にすることが必要ではないかと感じます。というのも、被災地においてはテレビなどの媒体で見るよりも現地の様子はひどいものであると感じる場面が多くあったからです。僕自身、被災の跡と生活をにおわせる跡の混在や現地の雰囲気は実際に足を運ばなければわからないものだと実感しました。

今後の復興にはより多くの人々の協力やその継続が大事であると思います。それを知る機会を持たせたことに感謝するとともに、同様のことを多くの人々が感じてくださり復興の支援に向けた活動に、少しずつ個々人のできる範囲のことでよいので協力してくださる意思を持ってくださることに期待し、また祈りたいと思います。

簡単ではありますがこれをもって所感とさせていただきます。

(2011/4/22)